

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	① 部局間連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	●行政機構の的確な編成に努めます。 ●多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、プロジェクトチームを設けるなど、横のつながりを重視した柔軟な推進体制づくりに努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
部局横断的な各種会議の開催数（年間）【種】	-	9 対前年増減→	9 ±0	10 +1	12 +2				20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 横断的な庁内体制の構築 【取組の概要（背景・目的等）】 多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、横のつながりを重視し、関係各課との連携を図っていくことで、横断的な庁内体制の構築に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度において、下記のとおり部局横断的な会議を実施しました。 ・部長会（総務課） ・課長会（総務課） ・災害対策本部会議（総務課） ・予算編成説明会（企画財政課） ・上牧町総合計画等内部検証委員会（企画財政課） ・ペガサスフェスタ担当者説明会（企画財政課） ・さくら祭り実行委員会（企画財政課、まちづくり推進課） ・デジタル田園都市国家構想交付金説明会（企画財政課） ・公民館等補修補助金検討会議（文化振興課、福祉課、企画財政課） ・久渡古墳群整備委員会（社会教育課、企画財政課、まちづくり推進課、建設環境課） ・地域公共交通内部検討会議（まちづくり推進課、総務課、福祉課、生き生き対策課） ・認定こども園に係る調整会議（こども未来課、企画財政課、総務課、まちづくり推進課、建設環境課、上下水道課、福祉課、教育総務課、社会教育課） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、各種行政課題に対し、関係各課と連携を図るための会議などを実施していくことで、横断的な庁内体制の構築に努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	② 人材育成の充実	秘書人事課
施策の展開方向	●研修機会の充実などによって専門的知識や広い視野で諸問題に取り組める職員育成に努めます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
職員研修の開催数（年間） 【種】	-	5 対前年増減→	5 ±0	5 ±0	5 ±0				10
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 職員を対象とした各種研修の実施	総合戦略 -		
【取組の概要（背景・目的等）】 研修を通じて、専門的知識や広い視野をもった職員の育成を図ることを目的としています。	A	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、研修機会を充実させることにより職員の育成を図り、組織全体の成長につなげていきます。
【実施内容・成果（R05）】 令和5年度の町主催の研修は「ハラスメント防止研修」、「タイムマネジメント研修」、「情報セキュリティ研修」、「自殺予防ゲートキーパー研修」及び「人権啓発研修」を実施しました。 また、市町村職員研修センターが主催する専門的な研修や各階層ごとの研修、全国市町村国際文化研修所（JIAM）が主催する研修に参加しました。			
【事業費（決算額：R05）】 ・職員研修事業：674千円			
取組② 実務研修生の派遣	総合戦略 -		
【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県の実務研修員制度を活用し、より一層の能力向上とともに経営感覚を身に付け、総合的な能力を備えた公務員としての成長を期待し、派遣しています。	A	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、実務研修員制度を活用し、計画的に職員を派遣します。
【実施内容・成果（決算額：R05）】 令和5年度は、1名の職員を奈良県（デジタル戦略課）へ派遣しました。			
【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし			
取組③ 専門人材の登用	総合戦略 -		
【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する業務に対応するために専門人材を確保することを目的としています。	A	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、より専門性の高い分野を見極めながら採用及び育成を検討します。
【実施内容・成果（R05）】 専門人材の登用については、より専門性の高い分野を見極めながら、令和5年度に採用試験を実施し、保健師及び保育士などの専門人材を採用しました。			
【事業費（決算額：R05）】 ・採用試験事業：358千円			

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
施策の展開方向	③ 計画的な財政運営	企画財政課
●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見すえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
予算編成説明会の開催（年間）【回】	-	1 対前年増減→	1 ±0	1 ±0	1 ±0				1
財政情報の公表（年間）【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	3 ±0	4 +1				4
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 中長期財政計画の策定		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 将来にわたり持続可能な財政運営を行うため、現在の財政状況を踏まえ、景気の動向や地方財政制度などから将来の収入見込及び財政需要を中長期的に推計することにより総合計画における基本構想に掲げた基本理念及び将来像を具現化し、必要な政策を実現するための指針とするとともに基本計画に定めた施策の展開方向、施策展開及び進捗管理を行い、健全な行財政運営を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 中長期財政計画（以下、「計画」という。）の策定を行い、議会への説明及びタウンミーティングでの住民向け説明を行いました。また、ホームページにおいて、計画を公表しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 住民のかたに向け、より一層わかりやすい計画を作成・公表することにより財政の見える化を図るよう取り組みます。
取組② 職員のコスト意識の向上		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 職員数減少への対応、行政運営の効率化及び住民サービスの向上などの観点から民間企業やNPOなどへの委託可能な事業については、積極的かつ計画的に推進し、また、行政の更なるデジタル化を推進することで、行政サービスの利便性向上、事務の効率化、行政コストの削減及び職員の業務負担軽減に努めていきます。 また、生産性や効率性を高めることで、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスが保たれるように努めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度予算編成方針の策定及び予算編成方針説明会において、説明・共有を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き予算編成方針の策定・全庁への共有時には、民間事業者やNPOなどへの委託の推進、また、行政事務のデジタル化を進めるよう積極的に発信していきます。 また、予算ヒアリングにおいて民間委託への検討状況及び検討結果並びに行政サービスのデジタル化について検討状況の更なる把握に努めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組③ 経営・財務マネジメントの強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 人口減少が進展する一方で、インフラ資産の大規模な更新時期を迎える中、中長期的な見通しに基づく持続可能な財政運営を行うためには、財政状況、ストック情報などを的確に把握し、「見える化」することが重要です。固定資産台帳及び財務書類（以下、「財務書類等」という。）のさらなる活用推進、財政の「見える化」を図ることにより経営・財務マネジメントの強化へつなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 財政情報に関する資料を作成し、公表しました。 - 令和5年度当初予算案の概要の公表 1回 - 令和4年度決算成果に関する報告書の公表 1回 - 令和4年度財務書類の公表 1回 - 中長期財政計画の公表 1回 【事業費（決算額：R05）】 ・新地方公会計整備支援事業：990千円	A	【今後の取組方針】 今後、財務書類などを活用するにあたっての指標及び目的に応じた分析に重点を置き、財務マネジメントの更なる強化につなげていきたいと考えます。
取組④ ガバメントクラウドファンディング活用の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 人口減少が進行する中、行政サービスを維持するためには、自主財源の確保に努める必要があることから、ガバメントクラウドファンディングの活用など、歳入確保に関する取組を推進します。 【実施内容・成果（R05）】 令和4年度にふるさと納税制度における返礼品の取扱いを開始したことに伴い、ガバメントクラウドファンディングを実施するためのシステム面での環境は整っており、活用の可能性がある取組について、担当課と調整を行いました。活用まで至りませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	C	【課題】 ガバメントクラウドファンディングを実施するにあたっては、運用方法や実施体制を整えたうえで、活用できる事業やプロジェクトの洗い出しが必要になってくると考えます。 【今後の取組方針】 ガバメントクラウドファンディングの実施体制を整えるとともに、クラウドファンディングやふるさと納税制度の活用方法に関する調査・研究を行うことで、歳入確保に関する取組を推進していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
施策の展開方向	③ 計画的な財政運営 ●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見すえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。	税務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町税徴収率【%】	-	91.0 対前年増減→	89.5 -1.5	89.3 -0.2	90.4 +1.1				92.5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町税等の徴収率の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 町が行う事業やサービス実施のためには財源の確保が課題となることから、町税などの徴収率の向上に努める必要があります。 【実施内容・成果（R05）】 税の公平性を保つため、滞納者に対して差押などの滞納処分を実施しました。その中でも特に、換価が容易な給与や預金について重点的に行いました。新たな取組として、相続登記のされていない不動産に対して相続登記及び差押を行い、相続人からの徴収につながりました。 また、徴収率を大きく下げていた大型店舗の固定資産税の滞納については一部解消となり、令和6年度分からは全額徴収となる見込みとなりました。 なお、滞納者に対しては滞納処分だけではなく、早期の納税相談や、適正な課税が行われていないかに対しては指導を行うなど、住民目線に立った行動も行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 令和6年度以降については、口座振替の推奨などを行い、どの程度、滞納額を減らすことができるのか検討していく必要があります。それでも滞納となった場合は、早期の滞納解消すべく悪質な滞納者については積極的に滞納処分を行っていきます。 滞納処分についても、県と連携のうえ、不動産の公売や自動車の差押、搜索なども実施していきたいと考えます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	税務課
施策の展開方向	●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。 ●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
租税教室の開催数（年間） 【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	2 -1	2 ±0				5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 租税教室の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 租税教室や教材の配布などを行い、子どもたちの税に関する理解の促進に努め、上牧町の将来について考える機会を提供します。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度の租税教室の開催実績については、小学校1校（上牧第三小学校）、中学校1校（上牧第二中学校）という結果になりました。 また、学校向けにアンケートを行い、カリキュラムや教育現場の求めている内容を把握し、租税教室の内容に反映させました。 その他、小中学校向けに例年のとおり、5校すべてに租税教育教材の配布を行いました。 （教材については全国法人会総連合及び日本税理士会連合会から無償提供していただきました） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 学校教育の一環として、租税に関する意識を正しく育むことが重要であり、税を扱う現場の職員が講義を行うことで、児童生徒が税について考え学ぶきっかけになっていると考えますので、引き続き税務署など関係機関と連携しながら、租税教室及び教材の配布を実施して参ります。 税務課職員による租税教室の実施については現在のところ小学校1校（上牧第三小学校）が希望しており、6月に実施予定です。 内容についても学校と打ち合わせを行い現場のニーズに合ったものを検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	教育総務課
施策の展開方向	●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。 ●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
小・中学校を対象とした子ども議会・一日町長体験開催数（累計）【回】	-	1 対前年増減→	1 ±0	2 +1	3 +1				5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 一日町長体験の実施／子ども議会の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 子どもたちの上牧町への関心を高めるとともに、上牧町を愛する心を育むことで、地域社会の一員として自らまちづくりに参画する意識を醸成し、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげることを目的に、「一日こども町長体験」を隔年で実施しています。 令和5年度は町内各小学校から1名ずつ代表で参加し、町長の一日の公務や役場で行われている業務を体験しました。 また、町長や教育長と町政について語り合うなど、子どもたちにとって上牧町の取組や方針、まちづくりへの思いについて知る機会となり、子どもたちの上牧町に対する関心惹起につながったのではないかと考えます。 【事業費（決算額：R05）】 ・一日こども町長体験事業：56千円	A	【今後の取組方針】 令和6年度は、子どもたちの町政に対する関心と理解を深めるため、「子ども議会」の実施を予定しています。実施に当たっては、前回（令和4年度）の子ども議会の開催において浮き彫りとなった課題の解決を図るとともに、「一日こども町長体験」において課題となった適切な準備期間の確保についても改善を図ります。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-2 広域連携の推進	担当課
	① 広域連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	●町民の日常生活圏の広域化などに対応するため、近隣自治体と連携し、行政ネットワークの連携強化を図ります。 ●多様な分野、形で連携を図り、行政課題解決の実績を重ねることで、町単独では実現し得ないまちづくり、住民サービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
広域連携新規事業数（累計） 【事業】	-	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 広域連携による公共サービスの提供／広域連携による行政課題の解決		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の中で、地域の魅力向上につながる広域連携事業の検討を行っていきます。 【実施内容・成果（R05）】 令和4年度から広域観光の取組として検討・準備を行っていた、史跡・古墳をめぐる「御墳印帖プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトの取組として「ほっかつ御墳印帖マップ」を作製したほか、スタートアップイベントとして、河合町総合福祉会館で「北葛城古墳フェスタ」を実施し、奈良県内外から100名を超えるかたに参加いただきました。 また、令和6年度以降の新たな事業展開のアイデア出しを行いました（空き家活用、公共交通の広域展開など）。 本取組を継続的に実施することで、4町の魅力を効率的に発信することができ、地域活性化や交流人口・関係人口の増加につながっていくと考えます。 <令和5年度 御墳印・御墳印帖販売実績> 御墳印：592枚 御墳印帖：64冊 【事業費（決算額：R05）】 ・すむ・奈良・ほっかつ！事業：250千円	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、「御墳印帖プロジェクト」を進める一方で、施設などの利便性の向上や行政運営の効率化を図るために、様々な分野において広域連携の実現可能性について検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	① 地域活動への参加機会の創出 ●自治会活動への支援を通じて、地域活動への参加意欲の高い町民や能力・経験を有する町民の地域活動への参加機会を創出するよう努めます。	秘書人事課

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地域活動への参加している割合【%】	-	34.2 対前年増減→	-	-	-				45.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 自治会活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 町民の意見を行政に反映する場や機会が充実し、町民と行政の協力・信頼関係から生まれた協働の考えのもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、様々なテーマで活動する町民活動団体がまちづくりの担い手として活躍できるまちを目指します。 【実施内容・成果（R05）】 町民の地域活動支援として、上牧町自治連合会に運営補助金70万円、各自治会に振興費助成金（人口×30円+10万円）を交付しました。 認可地縁団体設立を支援するため、上牧町自治連合会総会などでマニュアル概要版の配付と説明を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・上牧町自治連合支援事業：3,754千円	A	【今後の取組方針】 地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手の掘り起こしなど、必要な方策について検討します。 また、各自治会の取組を紹介する場を設けたり、自治会員勧誘のチラシの作成や広報に掲載します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	② 町民のまちづくり参加機会の拡充	企画財政課
●各行政施策における町民参加機会のさらなる拡充を図り、諮問機関の提言や意見を尊重して施策を進めます。 ●町民が参加できる活動のPRや情報発信などを行うことで、参加意欲の高い町民の活動フィールドを確保するとともに、地域活動団体の活動支援や地域力の向上に努めます。 ●オンラインを活用した町民参画機会を創出することで、新型コロナウイルスなどの感染症リスクを避けるとともに、子育て期間中や移動に時間を要するなど、現地に来ることが難しい方でも参加しやすい環境を整えます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
新規地域活動団体年間設立数 （累計）【団体】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1	3 +1				20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 （DO）	評価 （CHECK）	課題・今後の取組方針 （ACTION）
取組① 町民のまちづくりへの参画機会の創出／意欲的な町民の地域活動への招待 【取組の概要（背景・目的等）】 意欲的な町民のまちづくりへの参加機会を確保していくために、各種審議会などへの公募住民の任用やパブリックコメント、アンケートなどを実施していくとともに、実施方法などの改善についての検討を行っていきます。 【実施内容・成果（R05）】 パブリックコメントの運用に関して、各課に対して周知・啓発を行いました。年度当初に各課におけるパブリックコメント実施状況の把握に努めたこともあり、適切な運用ができています。 また、実際に3件のパブリックコメントを実施しました。 <令和5年度パブリックコメント実施結果> ①案件名：上牧町手話言語条例 募集期間：令和5年7月1日から令和5年7月31日まで 意見数：13件 ②案件名：上牧町障がい者計画及び第7期障がい福祉計画 募集期間：令和6年2月5日から令和6年3月5日まで 意見数：1件 ③案件名：上牧町第9期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画 募集期間：令和6年2月5日から令和6年2月19日まで 意見数：0件 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き各種審議会などへの公募住民の任用やパブリックコメント、アンケートなどを実施し、町民参加機会の確保に努めていきます。

取組② 地域活動団体の設立及び活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」（以下「公募型補助金」という。）の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。 【実施内容・成果（R05）】 地域活動団体（3団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。また、公募型補助金を通じて新たに1つの地域活動団体が設立されました。 <新規地域活動団体> ・上牧町在住外国人交流事業（団体名：Together）【補助金交付額106,015円】 【事業費（決算額：R05）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：432千円	B	【課題】 公募型補助金については、申請件数が少ないという現状を踏まえ、補助金をより活用してもらいやすくなるように補助金制度の見直しについても検討していく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。 また、公募型補助金については他市町村の事例について引き続き調査・研究を行いながら、制度の見直しについて検討を進めていきます。
---	---	---

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	③ 上牧町まちづくり人材バンクの拡充	企画財政課
施策の展開方向	●技術や能力を有している上牧町在住・在勤者を掘り起こし、上牧町まちづくり人材バンクの拡充に努めます。 ●上牧町まちづくり人材バンク登録者の町事業への参画・活動機会の創出に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町まちづくり人材バンクの登録者数【人】	○	30 対前年増減→	30 ±0	37 +7	37 ±0				45
上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数（年間）【人】	○	7 対前年増減→	6 -1	4 -2	6 +2				20
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 【取組の概要（背景・目的等）】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人材バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 新規登録はありませんでしたが、元々登録していた人材の庁内開催の各種審議会での委員就任や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。 また、町民の生涯学習活動などに利用できるように他都道府県・他市町村の制度の調査・研究についても進めることができました。 （活用事例） ・まきっ子塾：5名 ・各種審議会委員：1名 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 令和5年度は新規登録者数が0人であったため、町民への認知度向上を図り、登録者数を増やす必要があります。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけではなくSNSなども積極的に使用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、現在は内部での利用のみにとどまっているため、将来的に町民のかたの生涯学習活動などに利用してもらえるように、制度を整備し、運用していきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	④ 地域主体の協働のまちづくり ●町民の自主的な文化・コミュニティ活動などを支援し、人材・情報の提供に努めます。 ●町民主体のまちづくりの推進に向け、ボランティア団体等の自主的運営体制の確立とコミュニティリーダーの育成に努めます。 ●上牧町まちづくり基本条例の推進に取り組みます。 ●町民や団体・事業者が連携してまちづくりに取り組むことができるよう、環境整備を行います。	企画財政課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
まちづくり協議会設置数【団体】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① まちづくり協議会設立に向けたプラットフォーム構築支援/地域団体の自立支援 【取組の概要（背景・目的等）】 平成26年4月1日に「上牧町まちづくり基本条例」が制定されたことに伴い、町民との協働によるまちづくりをより一層推進していくこととなっています。しかし、地域コミュニティの中心的存在である自治会については、加入率の低下や担い手不足といった課題が生じていることから、地域コミュニティを持続可能なものとしていくためには、本条例にも規定されている「まちづくり協議会」といった新たな枠組みの検討が求められています。 【実施内容・成果（R05）】 まちづくり協議会に関する他自治体の取組事例の調査（王寺町、広陵町）を行うとともに、奈良県が主催する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」に参加しました。研究会では、石川県金沢市や奈良市朱雀地区の取組事例の紹介があり、まちづくり協議会に対する理解が深まりました。まちづくり協議会の設立を考えるうえでは、協議会の中心となる担い手を発掘していくことや、既存の枠組みにとらわれず地域の実情に応じた形でまちづくり協議会の枠組みを構築していくことが重要であると考えます。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 まちづくり協議会に関する取組を進めるためには、まちづくり協議会設置に向けた機運を高めるための取組が必要となりますが、地域住民へのまちづくり協議会に対する理解を深めてもらうためには、内部において、まちづくり協議会の枠組みの検討を進めるとともに協議会の設立支援体制を構築していくことが必要であると考えます。 【今後の取組方針】 引き続き、他自治体の取組事例を調査していくとともに、上牧町における「まちづくり協議会」の枠組の構築に向けた検討を進めていきます。内部において、まちづくり協議会の枠組み（組織や運営などに関する事項）の素案ができたタイミングで地域住民との意見交換などを実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑤ 公募型補助金の活用促進	企画財政課
施策の展開方向	●補助金を活用し、町の活性化に資する公益的活動を行う団体の育成を図り、町民と行政との協働のまちづくりのさらなる推進に取り組めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】	○	3 対前年増減→	5 +2	2 -3	4 +2				7
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用促進		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて補助金の交付を行います。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は4団体からの申請があり、上牧町協働のまちづくり公募型補助金審査判定委員会に諮った結果、地域活動団体（3団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、従来よりも早期の事業着手を可能にするため、事前申請制度を新たに設け、実際に2団体から本制度を利用しての申請がありました。 <実施事業（R05）> ●自由提案事業補助金 ①自主防災に関するワークショップ（団体名：かんまき自主防災ネットワーク）【補助金交付額102,485円】 ②コキア大作戦（団体名：片岡城址盛り上げ隊）【補助金交付額83,821円】 ③上牧町在住外国人交流事業（団体名：Together）【補助金交付額106,015円】 【事業費（決算額：R05）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：432千円	B	【課題】 申請件数が伸び悩んでいる要因として、多様化しているニーズに対応できていない部分があると考えます。 【今後の取組方針】 引き続き上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考にするなど、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑥ 地域コミュニティの強化	社会教育課
施策の展開方向	● 地域、校区、学校での個々のコミュニティ網の形成に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	4 対前年増減→	1 -3	1 ±0	1 ±0				5
学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】	○	238 対前年増減→	217 -21	254 +37	243 -11				250
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成 【取組の概要（背景・目的等）】 地域とともにあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年3回程度実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は各小中学校の校長・教頭・コーディネーター、事務局を対象に研修会を1回実施しました。奈良県CSアドバイザーにお越しいただき、飛鳥小中学校の導入事例と学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入と地域学校協働活動（学校・地域パートナーシップ事業）の一体的推進のあり方についてお話いただきました。この研修によって、当該事業に係る理解を深めることができました。 【事業費（決算額：R05）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：1千円	A	【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。

取組② 学校支援事業の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。 【実施内容・成果（R05）】 主な活動として図書支援・環境支援などを行い、小学校では登下校見守り支援も実施しました。新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことで、コロナ禍のように制限されことなく活動することができました。地域のかたによる学校支援の取組により、教職員の負担軽減につながり学校教育の充実を図ることができたと考えます。 また、ボランティア募集のチラシを工夫するなど、人材確保にも努めました。 【事業費（決算額：R05）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：1,181千円	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。
---	---	---

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑦ ふるさと意識の高揚	企画財政課
施策の展開方向	●ふるさとに対する愛着や誇りの醸成・再認識を目的に、町出身者が上牧町に関わる機会の提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「上牧町に住みたい」という人の割合【%】	-	77.6 対前年増減→	-	-	-				80.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 地域イベントとして「ベガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月22日から4月10日まで夜桜のライトアップを実施し、3月30日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは事業の深化・高度化を図ることを目的に上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 さらに、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」における新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトの取組として「ほっかつ御墳印帖マップ」を作製したほか、スタートアップイベントとして、河合町総合福祉会館で「北葛城古墳フェスタ」を実施し、奈良県内外から100名を超えるかたに参加いただきました。 令和5年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印592枚、御墳印帖を64冊売り上げました。 令和4年度に引き続き、「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの活用」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を「知ってもらえる・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R05）】 - ベガサスフェスタ開催事業：4,708千円 - 片岡城復刻AR事業：94千円 - ライトアップ事業：1,394千円 - PRキャラクター活用推進事業：1,378千円	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き「ベガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組② ふるさと納税制度の活用			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 ふるさと納税制度を活用し、上牧町における特産品の発信・発掘を行うことで、上牧町出身者などの町外のかたに対し、上牧町に関わる機会を提供していきます。 【実施内容・成果（R05）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計2サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者として14事業者の登録があり、返礼品として累計106品目（令和4年度比+46品目）の登録となりました。令和5年度の寄附額は10,533,000円（令和4年度比+3,856,000円）という結果となり、掲載サイトを増やした結果、令和4年度に引き続き寄附額が増収となりました。 特産品開発支援補助金については、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を令和4年度に引き続き実施しました。2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発が行われました。（開発：2件（Caféタープ（アウトドア用品）、上牧町PRキャラクター「ゆりはちゃん」をあしらった雪駄）） 【事業費（決算額：R05）】 ・ふるさと納税事業：4,944千円 ・特産品開発支援補助金事業：424千円		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、上牧町に関わる機会の一つとして、ふるさと納税制度の活用を推進していきます。 ふるさと納税の返礼品については、登録品目を増やしていくために、広報やHPなどを活用した情報発信を行っていくほか、特産品開発支援補助金制度の普及にも努めていきます。 また、返礼品を掲載する「ふるさと納税ポータルサイト」についても、返礼品に目を触れてもらう機会を増やすために、更にサイトを追加して掲載していくよう検討を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
	① 情報発信及び情報共有の充実	秘書人事課
施策の展開方向	●広報紙やホームページなどを使った広報活動に努めます。 ●SNSを積極的に活用し、町民に直接届ける「プッシュ型」の情報発信・情報共有を推進します。 ●町民へまちづくりの情報を提供するため、行政情報公開を推進します。 ●町民と行政が情報共有を図れるよう環境の整備に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
SNSの延べフォロワー数【人】	○	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771	5,345 +1,074	5,864 +519				5,500
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635	253,220 -21,574				500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 既存情報発信媒体の発信力の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 町民生活に役立つ情報が様々な情報媒体から発信・共有されてすべての町民に届けられ、上牧町全体がつながり情報が届けられるまちを目指します。 【実施内容・成果（R05）】 リニューアル後のホームページ内の情報が整理できていない箇所を修正しました。 職員向けのホームページ操作研修を毎年度実施しています。基本的なログイン方法や操作方法などを学び、所管課職員が直接掲載、編集などを行えるようになり、情報をスムーズに発信できるようになりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・既存情報発信事業：6,203千円	A	【今後の取組方針】 令和4年4月1日にリニューアルを行ったホームページについては、リニューアル後もシステム面の改修や内容の充実、使いやすさの向上を目指し日々更新を続けていきます。 ホームページの操作研修については、職員の異動等や緊急時などという場合にも、なるべく多くの職員が操作できるよう継続して実施します。
取組② タウンミーティングの継続的な実施 【取組の概要（背景・目的等）】 町民からの声を積極的に聴く機会を作ります。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度からタウンミーティングを再開し、町民の皆さんの声を直接聞く機会を得ることができました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 参加率を上げるため、適切な実施時期や時間などについて検討します。町長との直接対話や町の施策に活かすことができる重要な場であることから、今後も継続的に実施します。
取組③ SNSを活用した情報発信と企画の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 SNSの活用により迅速に情報を発信することが可能です。 また、町民だけではなく町外にも町の魅力や情報発信を行うことで、町の認知度を高めることにつながります。 【実施内容・成果（R05）】 Instagramにおいて、上牧町独自のハッシュタグを使った取組を実施したことで、町民と町が情報共有を図ることができ、町の魅力などの発信に繋がりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・SNS活用情報発信事業：132千円	A	【今後の取組方針】 現在進行中の住民参加型企画のさらなるPRや新たな企画などで、新規の住民参加を進めていきます。 Instagramについては、引き続き週2回を目標に投稿し、町の魅力や情報を発信します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
	② シティプロモーション活動の推進	企画財政課
施策の展開方向	●コンパクトで生活利便性に優れ、事前に囲まれた上牧町の特徴をPRすることにより、住みよいまちであることを地域内外にPRします。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	○	50.6 対前年増減→	38.2 -12.4	40.4 +2.2	33.3 -7.1				60.0
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635	253,220 -21,574				500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月22日から4月10日まで夜桜のライトアップを実施し、3月30日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは事業の深化・高度化を図ることを目的に上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 さらに、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」における新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトの取組として「ほっかつ御墳印帖マップ」を作製したほか、スタートアップイベントとして、河合町総合福祉会館で「北葛城古墳フェスタ」を実施し、奈良県内外から100名を超えるかたに参加いただきました。 令和5年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印592枚、御墳印帖を64冊売り上げました。 令和4年度に引き続き、「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの活用」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を「知ってもらえる・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R05）】 ・ペガサスフェスタ開催事業：4,708千円 ・片岡城復刻AR事業：94千円 ・ライトアップ事業：1,394千円 ・PRキャラクター活用推進事業：1,378千円	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組② 大学や企業との連携によるブランディングの推進			総合戦略	基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 コンパクトで生活利便性に優れ、自然に囲まれた上牧町の特徴をPRし、より一層ブランディングを推進していきます。 【実施内容・成果（R05）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計2サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者として14事業者の登録があり、返礼品として累計106品目（令和4年度比+46品目）の登録となりました。 特産品開発支援補助金については、2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる新製品の開発が行われました。 事業者紹介サイトについては、前年度と変わらず合計29事業者の登録が継続されました。 その他、企業版ふるさと納税に関しては奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・ふるさと納税事業：4,944千円 ・特産品開発支援補助金事業：424千円 ・奈良県企業版ふるさと納税推進事業：11千円		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じた上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。 また、事業者紹介サイトの運営も引き続き行います。 その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携が図れるように制度を整備していきます。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
	① 情報セキュリティの強化	総務課
施策の展開方向	●研修や内部監査の実施により、問題点を早期に発見し、正しい理解のもと、対策を確実にすることで、情報セキュリティの強化に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
情報セキュリティに対する遵守意識度	-	93.7 対前年増減→	96.4 +2.7	96.5 +0.1	92.0 -4.5				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できていて、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	情報セキュリティの強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町が保有する情報の漏えいなどの重大な過失を防ぐため、情報セキュリティの強化を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 情報セキュリティ全体研修を令和5年8月2日・4日に全職員を対象に行い、改定された情報セキュリティポリシーの周知を行いました。 また、令和6年1月にセキュリティポリシー遵守に関する自己点検を全職員を対象に行いました。令和5年度から情報セキュリティポリシー遵守に関する自己点検方法を変更し、より詳細な検査項目としたため、情報セキュリティに対する遵守意識度が低下しました。自己点検の結果を踏まえ、上牧町情報セキュリティ委員会より全職員に再度セキュリティポリシーの周知を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・情報セキュリティ監査・研修事業：660千円		B	【課題】 情報セキュリティポリシーの自己点検の結果について、基本的な情報セキュリティに関する意識については高いものの、より詳細なセキュリティ遵守の項目については引き続き研修などで周知していく必要があります。 【今後の取組方針】 情報セキュリティ全体研修を引き続き行い、また情報セキュリティ内部監査についても行っていきます。令和6年度の情報セキュリティポリシー遵守に関する自己点検はLGWAN環境で行うこととし、実施率の向上も図ります。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
施策の展開方向	② 行政手続き等のオンライン化の推進	総務課
●ICTを活用した行政手続きの簡素化・効率化を図り、スマート自治体の実現に向けて電子申請サービスの運用やオンライン環境の整備を推進します。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
行政手続きのオンライン化率 【%】	-	- 対前年増減→	- ±0	3.0 +3.0	10.0 +7.0				33.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 押印省略に向けた例規整備 【取組の概要（背景・目的等）】 デジタル時代に向けた規制・制度の見直しの一環として、行政手続きにおける押印の見直しを行います。 【実施内容・成果（R05）】 様式における押印省略のみの改正は実施していませんが、他の部分の改正などがある例規については、併せて様式などの押印の有無を確認し、省略できるものについては、随時改正を行っています。 また、新規制定例規については、押印の省略ができるものについては、事業担当課と相談のうえ、決定しています。 【事業費（R05）】 予算計上なし	B	【課題】 制定、改正などのタイミングで随時行っているものの、今後の行政手続などのオンライン化を見据えた対応を検討する必要があります。 【今後の取組方針】 上記の課題に対応した町の基本方針を定め、各課に周知していきます。令和6年度よりLoGoフォームを利用したオンライン申請を進めていくうえで、全庁的な押印見直しを行います。
取組② 電子申請システムやオンライン環境の拡充 【取組の概要（背景・目的等）】 電子申請システムやオンライン環境の拡充を行うことで、町民の利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 マイナポータル（マイナンバーカードを利用した電子申請）から、転出局が73件、転入予定連絡が46件が申請されました。雇災証明書について、マイナポータルを利用して発行申請を行えるようになりました。 【事業費（R05）】 予算計上なし	B	【課題】 事務の煩雑さや住民のニーズに対する費用対効果を考慮した場合に、実施に向けた大きな投資を行うことが難しい状況にあります。 【今後の取組方針】 順次、マイナンバーカードを利用したオンライン申請管理業務の拡充を行います。 また、令和6年度からLoGoフォームを利用した各課のオンライン申請を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
	③ マイナンバーカードの普及促進	住民保険課
施策の展開方向	●広報・SNSを活用した積極的な周知を図ることにより、マイナンバーカードの普及に努めます。 ●休日交付窓口の開設を行うほか、片岡台出張所での交付申請を可能にするなど、マイナンバーカードの取得を希望する住民の利便性向上を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
マイナンバーカード交付率【%】	-	28.9 対前年増減→	41.3 +12.4	66.3 +25.0	76.3 +10.0				100
上牧町におけるコンビニ交付による証明書等の発行率【%】	-	8.0 対前年増減→	14.6 +6.6	22.6 +8.0	31.3 +8.7				20.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 広報・SNSを活用した周知の強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 開庁時間にマイナンバーカードの交付を受けられないかたへ向けて、休日及び夜間交付窓口があることの周知を行います。 【実施内容・成果（R05）】 広報及びLINEを用い、それぞれ月1回年12回の広報を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 引き続き広報・SNSを活用し周知を行っていきます。
取組② 休日交付窓口の開設		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 開庁時間にマイナンバーカードの交付を受けられないかたへ向けて、休日及び夜間交付窓口を開設します。 【実施内容・成果（R05）】 毎月1回休日窓口及び夜間交付窓口を開設しました。 休日交付窓口は年間12回、97枚（人）の交付を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 交付申請の減少に伴い、休日夜間交付での発行枚数も減少してきています。 《休日窓口発行枚数》 205枚（令和4年度） 97枚（令和5年度） 開催日に柔軟性を持たせるなどの対応をしていきます。
取組③ 交付申請窓口の増設		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 効率的にマイナンバーカードを申請できるように窓口を運営します。 【実施内容・成果（R05）】 マイナポイント事業が9月末まで実施されており、それに伴い窓口が大変混雑しました。 交付窓口とポイント窓口を分けるなどの対応を行い、全体的な待ち時間を短縮することができました。 【事業費（決算額：R05）】 ・個人番号カード関連事業：480千円	A	【今後の取組方針】 マイナポイント事業が終了し、令和6年度末からは更新の手続きが増える見込みです。複数回来庁が不要な手続きを案内するなどの効率化を検討中です。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
施策の展開方向	① 公共施設の適正な管理運営 ●町民の多様なニーズや利用目的にも柔軟に対応できるよう、公共施設の適正な管理運営に努めます。 ●施設の長寿命化や適切な維持管理により、施設を長く使用し、施設管理にかかる費用の圧縮を図ります。 ●老朽化した施設や利用率の低い施設については、複合化・多機能化を図り、利用者ニーズに対応した施設運営に取り組みます。 ●施設管理の手法について調査・研究し、効率的な管理運営、コスト削減に努めます。	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 公共施設の管理運営会議の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 公共施設の安全性の向上・長寿命化・効率化を目的に公共施設の管理運営会議に参加します。 【実施内容・成果（R05）】 公共施設包括管理委託に関する検討会に2回参加しました。 検討会を通じて、複数の施設の維持管理をまとめて元請であるマネジメント会社に委託し、実作業は協力会社に再委託することについて、各市町の方針や考え方を共有しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 公共施設の複合化・多機能化により、町民の多様なニーズに柔軟に対応することができるよう検討していく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 先行して公共施設包括管理を実施した自治体のノウハウを参考にしつつ、各市町で発注されている仕様内容などを整理・標準言語化したうえで、標準仕様作成やDX活用の有効性などを複合的に研究していきます。 また、今後は、公共施設の適切な管理運営を目指し、有識者を含めた検討会議の設置・開催を検討していきます。
取組② 長寿命化改修の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕のために、長寿命化改修の推進を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 上牧町役場本庁舎内の誘導灯設備の更新、雑排水ポンプの修繕、電算室内の空調機の修繕、庁舎裏のタイル修繕、庁舎内外の改修・維持修繕などを実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・庁舎維持補修事業：3,286千円 ・庁舎設備改修事業：12,273千円	B	【課題】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕が必要であると考えます。 【今後の取組方針】 本庁舎については耐震安全性が確保されているため、本庁舎機能を長期的に維持できるように計画的な管理保全を行っていきます。 また、本庁舎を含む公共施設の公共施設台帳の整備を行うことにより、長寿命化改修の推進を図ります。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組③ 指定管理制度の活用や公共施設包括管理の導入に向けた検討		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 指定管理制度の活用や公共施設管理の導入に向けた検討を図ります。町民交流施設（公民館、老人憩の家、コミュニティセンターなど）については、自治会またはシルバークラブを指定管理者として運営しています。 【実施内容・成果（R05）】 公共施設の包括管理については、公共施設包括管理委託に関する検討会を通して、各市町と導入に向けて研究しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 現在、町が様々な用途で建設した建物を、自治会またはシルバークラブが指定管理者となってもらうことで、地域コミュニティの場として利用されています。 しかし老朽化や管理者のなり手不足は年々進んでおり、また人口減少に伴う利用需要の変化もあり施設を維持管理することは困難な状況になりつつあります。 【今後の取組方針】 先行して公共施設包括管理を実施した自治体のノウハウを参考にしつつ、各市町で発注されている仕様内容などを整理・標準言語化したうえで、標準仕様作成やDX活用の有効性などを複合的に研究していきます。 また、施設の管理運営についても最適な方策を今後も引き続き検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
	② 市町村間での公共施設の相互利用	総務課
施策の展開方向	●住民サービスの充実を追求し、より魅力的なまちづくりを進めていくことを目的に、市町村間での公共施設の相互利用に取り組むとともに、利用促進のための情報発信に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共施設の満足度【％】	○	14.7 対前年増減→	-	-	-				35.0
ペガサスホール利用日数（年間）【日】	-	84 対前年増減→	90 +6	91 +1	112 +21				120
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	公共施設広域連携検討会の開催		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。 【実施内容・成果（R05）】 広域連携検討会に3度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。 また、施設の相互利用に関する協定を令和4年度に締結した7市町に御所市を加えて8市町で締結し、協定を締結した市町間で実証実験を行いました。さらに、各施設において利用者のかたを対象にアンケート調査を行い、利用実態の把握に努めました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 検討会での各自治体共通の利用者側の課題として、各対象施設でそれぞれの予約手続方法があるため、統一性がなく分かりにくいことが挙げられています。管理者側の課題としては、インターネットを利用できない利用者もいることから、「電話受付」、「窓口受付」など各自治体でルールを統一し、運用する必要があります。 また、インターネット予約を普及させるために特典の導入なども検討していきたいとの意見もあげられています。 【今後の取組方針】 共同利用に向けた運用ルールの課題整理・統一化を検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
① 地域の防災力の向上		総務課
施策の展開方向	●自治会の防災活動を支援するとともに、防災訓練の実施や地域団体・学校等への防災訓練・防災教室の支援を通じて、関係機関、関係団体、地域、企業等と連携を強化し、防災・減災体制の充実に取り組みます。 ●子ども・若者・転入者の参加を促し、防災教育や次世代の担い手育成にも取り組みます。 ●町民や地域における自助・共助の取組を支援するとともに、自主防災組織の人員の確保と組織強化を支援します。 ●災害時における避難所の適正な確保・配置を行うとともに、ハザードマップの周知等に取り組むなど、防災力の強化に努めます。 ●地域の防災力強化を図るため、消防団員数の確保に取り組みます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
子ども防災意識の向上教室の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				1
地域防災訓練の支援回数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1	2 ±0				3
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				1
防災士資格取得支援者数（累計）【人】	-	116 対前年増減→	117 +1	118 +1	123 +5				240

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 子ども防災意識の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 災害時において命を守る行動を行えるよう、子どもたちの防災意識の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う『奈良県 いっせ地震行動訓練（ナラ・シェイクアウト）』に本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校が参加しました。（7月10日） また、子ども向けの消防防災に関するDVDの上映と子ども向けの啓発物品の配布を行いました。西和消防署と協力し、消防防災に関する啓発を行いました。（11月3日ペガサスフェスタ） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、子どもたちの防災意識の向上を図るためイベントや教室の開催、水消火器を使った子ども向け防災訓練などを積極的に行っていきます。
取組② 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携 【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで、町の防災力向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり（5月21日）にて、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライベートテントとラップ式トイレの展示を行いました。 また、防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、自治会を対象とした避難所開設訓練（7月2日）を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 近隣自治体との広域連携訓練について、協議が必要と考えます。 【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援などを行い、地域の防災意識の向上を図っていきます。 広域連携について、引き続き北葛城郡各町と協議を進めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組③ 防災訓練の充実による自治会、職員の育成		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練を行うことで町民・職員の育成を行い、町の防災力向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 全職員を対象とした「救命救急講習」（令和5年5月29日～令和6年2月19日）を実施しました。 防災士資格の取得者について、令和5年度は5人のかたが資格取得されました。令和5年度末において町内の防災士は123人となっています。 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり（5月21日）にて、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライベートテントとラップ式トイレの展示を行いました。 また、防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、自治会を対象とした避難所開設訓練（7月2日）を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・防災士資格取得支援助成金事業：64千円	A	【今後の取組方針】 防災士資格の取得支援を継続的に行います。併せて、支援事業の周知を積極的行います。 町職員においても、防災士資格の取得や防災に関する研修への参加を促していきます。
取組④ 消防団への加入促進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町消防団への加入を促進し、地域の消防力の強化を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 消防団員確保に向けて、ホームページ掲載やイベントにおける募集のポスターを掲示し募集啓発を行いました。 《団員数》 令和4年度：113人 令和5年度：107人 《新規加入団員数》 令和4年度：3人 令和5年度：6人 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 本町においても減少傾向にあり、消防団の認知度・イメージアップを図るための取組を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	② 災害時の救急医療体制強化	総務課
施策の展開方向	●近隣町や民間医療機関との連携のもと、災害医療情報について、広域的に医療機関情報等を収集し、提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数【件】	-	39 対前年増減→	41 +2	46 +5	46 ±0				42
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	医療機関との災害時救助支援協定の締結		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 医療機関との災害時救助支援協定を締結することで、災害発生時における救急医療体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 奈良県が、奈良県医師会及び奈良県薬剤師会と協定を締結しているの で、上牧町としては、災害発生時に迅速に行動できるよう、協定内容の確 認、研究を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 災害発生時に迅速に対応するため、県に速やかに 本町の被害状況を伝えることが前提となります。 県に的確な情報を連絡し、県と奈良県医師会との 連携により、被災の影響を受けていない派遣可能な 医療機関が決定しますので、関係機関などとの連携 を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	③ 消防防災体制の強化	総務課
施策の展開方向	●災害時等における危機管理体制の整備を進めるとともに、近隣町と連携して広域消防体制の充実強化を図ります。 ●災害時の情報や情報のネットワークの充実を図ります。 ●予測を上回る状況下での優先的に実施すべき業務を特定し、業務の執行体制や対応手順を整理するとともに、組織として共有し適切な業務執行の充実を図ります。 ●避難所となる公共施設については、マンホールトイレや備蓄物資の充実等、防災拠点としての環境整備を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数【件】	-	39 対前年増減→	41 +2	46 +5	46 ±0				42
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	近隣町との広域消防体制の強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 近隣町の防災担当との情報交換などを行い、災害時における消防体制を含む防災体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 北葛城郡4町消防団合同訓練の実施に向けて、各町の担当者と協議を行い、西和消防署及び広陵消防署に協力要請し、令和6年度に北葛城郡4町消防団合同訓練の実施に向けた検討を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 消防防災力強化のため広域連携について、西和消防署及び広陵消防署に協力要請し、令和6年度北葛城郡4町消防団合同訓練の実施に向けて今後も調査・研究を進めていきます。
取組②	防災拠点の環境整備		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 災害発生時に滞りなく活動が行えるように、防災拠点の環境整備を行います。 【実施内容・成果（R05）】 上牧町消防団第2分団西部第1分隊（北上牧）消防屯所の改築工事を実施しました。 また、上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）消防屯所についても、新耐震基準を満たしていない施設であることから、改築に向けて設計業務を実施しました。 防災拠点整備（上牧第二中学校）の検討を引き続き行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・上牧町消防団第2分団西部第1分隊（北上牧）消防屯所改築事業：45,870千円		A	【今後の取組方針】 令和6年度において、上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）消防屯所の改築工事を実施します。 その他の消防屯所についても、消防防災拠点としての機能を維持するために、適宜対応を行います。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組③ 災害時情報発信ネットワークの充実			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 防災行政無線など、すべての町民へ災害時に情報を提供できる環境の整備を行います。 【実施内容・成果（R05）】 防災・防犯情報をお知らせする「お知らせメール」の登録について、広報やホームページ、イベント、窓口業務において啓発活動を行いました。 また、スマートフォンの利用が困難なかた向けに「お知らせメール」やLINEの登録方法や緊急時におけるインターネットでの情報収集の方法などを含めたスマートフォン教室を開催しました。 （登録者数 令和4年度 1,791人 令和5年度 1,681人） 【事業費（決算額：R05）】 ブラストメール事業 53千円		A	【今後の取組方針】 「お知らせメール」についても継続して、啓発普及活動を進めていきます。併せて、LINEでの情報発信も拡充していきます。
取組④ 行政間及び民間との協定締結等による応援体制の充実			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 災害時における連携協定などを締結することで、応援体制の充実を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 福祉避難所の確保や災害時の人材確保などに関する協定締結に向けて、各団体と協議・研究を進めました。 （協定件数 令和3年度 41件 令和4年度 46件 令和5年度 46件） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 今後も様々な分野での災害時における連携協定を締結し、防災力強化を図っていきます。
取組⑤ 災害時要配慮者の避難支援体制の強化			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 避難が困難な状況である町民に避難行動要支援者として登録してもらうことで、災害時の避難支援体制の強化を行います。 【実施内容・成果（R05）】 新規転入者への案内を中心に本事業の啓発を行いました。 また、現在登録されているかたの転居などの有無の確認を行い、台帳の整理を行いました。 要配慮者支援に関する手引きを令和6年度の改正に向けて、調査・研究・協議を進めました。（登録者数：131人） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 本事業について、再度住民への周知が必要と考えます。 【今後の取組方針】 新規転入者をはじめ、支援を必要とする町民への啓発として、町広報やホームページへの掲載などを活用し、周知を行います。 併せて、現在登録している町民に対し、新様式への更新作業を実施します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	まちづくり推進課
施策の展開方向	●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	開発指導要綱に基づいた開発指導		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度において、開発事前協議は3件指導しました。その中で特に重点的に指導した内容として、一定規模以上の宅地開発については、大和川流域における治水のため調整池などを設けるよう指導しました。 また、開発許可申請が1件、開発行為変更許可申請が1件があり、内容について確認し、「都市計画法上支障がないこと」を県に副申しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。また、本町で行われる開発行為について関係各課と事前協議を行い、上牧町としての意見書を取りまとめ開発事業者に対し指導を行います。 「上牧町住宅地等開発事業に関する指導要綱」及び「上牧町小規模住宅地等開発事業に関する指導要綱」の改定に向けて参考になるような他市町村の開発指導要綱の調査を行い、内容について研究していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	建設環境課
施策の展開方向	●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
大和川流域総合治水対策容量【%】	-	33.0 対前年増減→	44.0 +11.0	44.0 ±0	83.3 +39.3				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	流域対策施設（ため池）整備事業の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 大和川流域総合治水対策として、町内のため池において、貯留浸透事業を進めています。また、町内に流れる河川において、防災・安全対策の観点からハザードマップの作成を行い、防災意識の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 ため池貯留浸透事業として、中山谷池、秩父池における貯留浸透施設の改修を目的とした工事を実施しました。 令和5年度末時点での対策容量は17,997㎡、83.3%となりました。（目標対策容量 21,600㎡） 県において水位周知河川以外の管理河川（滝川）の洪水浸水想定区域図が公表されました。この公表を受けて、滝川の洪水ハザードマップの作成及び全戸配布を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・大和川流域総合治水対策事業：9,010千円		A	【今後の取組方針】 令和6年度に茨崎池のため池貯留浸透事業対策測量設計業務を行い、令和7年度に対策工事を実施します。 茨崎池の予定対策量は5,900㎡であり、工事が完了すればため池における治水対策量の合計が23,897㎡となり、目標である21,600㎡の達成を目指します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	① 安全安心なまちづくり ●交通安全施設等の設置や危険箇所の早期改良など、障がい者や高齢者、子ども等、誰もが安心できる道づくりを進めます。 ●危険箇所、通過交通の多い箇所について、交通安全施設の設置を進めます。特に通学路については、交通安全施設の重点的整備を図ります。 ●ドライバーに対して交通マナーの啓発を進めます。 ●子どもや高齢者などに対し、交通安全意識の啓発を進めます。 ●特殊詐欺等の被害に遭わないよう、防犯意識の啓発を推進します。	総務課

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
高齢者自転車用ヘルメット購入費補助件数（累計）【件】	-	38 対前年増減→	64 +26	112 +48	244 +132				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の危険箇所における交通安全施設等の設置 【取組の概要（背景・目的等）】 町内の危険箇所について、必要に応じて交通安全施設の設置を行います。 【実施内容・成果（R05）】 教育総務課が主として行った10月10日開催の上牧町通学路合同点検において、西和警察署および道路管理者・各担当課で危険箇所の確認を行い、必要に応じた交通安全施設などの設置について共有を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も危険箇所の把握、共有を各関係団体と行い、必要に応じて交通安全施設などの設置の要望を行っていきます。
取組② 交通安全教室の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 町内の小学校、幼稚園及び保育園を対象に交通安全教室を開催することで、子どもの交通安全への意識づけを行いました。 【実施内容・成果（R05）】 以下の日程で交通安全教室を実施しました。 ・5月22日実施 上牧幼稚園 ・6月1日実施 上牧第二小学校 ・6月15日実施 片岡台幼稚園 ・6月28日実施 上牧第三小学校 ・11月20日実施 第一保育所・慈光保育園・黎明保育園・やまびこ保育園 ・11月28日実施 上牧小学校 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 令和6年度においても、西和警察署及び交通安全協会上牧町分会と協力して各保育所、幼稚園、小学校で交通安全教室を実施します。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組③ 高齢者に対する運転免許返納の啓発		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者ドライバーへの安全運転の啓発、また加齢による自動車の運転が困難である町民には運転免許証の返納についての啓発を行い、高齢者ドライバーによる交通事故の軽減に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 春と秋（年2回）の交通安全運動の際に、ラスパ西大和店において、西和警察署と連携して交通安全に関する啓発物品の配布を行いました。 また、駐車場において、衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術でドライバーの安全運転を支援する「サポートカー」の運転体験を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 関係機関との連携不足があったと思われるので、連携を強化していきます。 【今後の取組方針】 西和警察署と連携し高齢者ドライバーに向けた、高齢者の免許返納に関わる啓発活動の回数を増やし、講演会も実施します。 併せて、ベガスフェスタで返納に関する映像の上映を通し、活動を行っていきます。
取組④ 高齢者自転車用ヘルメット購入費用補助		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助し、自転車運転時にヘルメットの着用を行うことで、運転時における交通安全意識の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 全年齢対象 件数244件 《内訳》 65歳以上：159人 65.2% 19～64歳：40人 16.4% 0～18歳：45人 18.4% 【事業費（決算額：R05）】 ・自転車用ヘルメット購入費補助金事業：561千円	A	【今後の取組方針】 道路交通法改正（令和5年4月1日）により、年齢を問わない自転車に乗車するすべての者にヘルメット着用の努力義務が課せられることとなることに伴い、補助対象者をすべての年齢とすることで広く自転車用ヘルメット着用の促進を図り、交通安全対策の推進を図っていきます。
取組⑤ 特殊詐欺被害防止のための防犯電話購入費補助		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者を対象に、防犯電話購入費の一部を補助することで特殊詐欺被害の防止を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 29件の防犯電話購入費補助の申請がありました。 【事業費（決算額：R05）】 ・防犯電話購入費補助金事業：145千円	A	【今後の取組方針】 令和6年度においても引き続き、防犯電話購入費補助に取り組んでいきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	② 緊急医療の充実	生き活き対策課
施策の展開方向	●近隣町や民間医療機関と連携し、救急医療情報の的確な情報提供に努めます。 ●救急医療の役割に関しても、普及啓発を図り、町民の理解と協力を得ながら、救急医療の充実を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
緊急通報装置新規申請件数【世帯】	-	38 対前年増減→	29 -9	51 +22	23 -28				40
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内民間医療機関との連携強化 【取組の概要（背景・目的等）】 病院から在宅へシームレスな移行ができ、介護が必要ながたが安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、西和地域7町と医療機関、ケアマネジャーなどが連携しています。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年6月の1か月間を対象に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を利用している状況調査として、西和6病院（※）および西和7町のケアマネ事業所を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施しました。結果、入院時にケアマネジャーが病院へ提出する情報提供書の提出率は令和4年度91.3%から94.5%へ、退院時に病院からケアマネジャーへ連絡をする退院調整率が前年度の80.6%から86.3%へとともに上昇しました。要因として、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、コロナ禍以前のような顔の見える関係づくりや退院調整ルールづくり事業などで培われた医療・介護関係者の連携体制が強化されているためと考えられます。 また、西和7町主体で、病院の新人職員と居宅介護支援事業所の新人ケアマネジャー向けの入退院ルール勉強会を実施しました。引き続き退院調整率の高い水準が維持できるよう事業を実施します。 ※西和6病院：西和医療センター、ハートランドしぎさん、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院 【事業費（決算額：R05）】 ・緊急通報見守り支援事業：4,479千円	A	【今後の取組方針】 令和6年度についても、医療機関やケアマネジャーへメールでアンケートの配布を行い、調査を通して退院調整の状況を確認、連携への課題などの抽出を行います。 また、退院調整ルールの更なる浸透、連携の質の向上、西和6病院以外の圏域外病院と連携が必要となります。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	③ 自主防犯活動の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●自治会やPTA等による自主的な防犯活動や事業者による防犯対策を促進するとともに、ボランティア活動の積極的な活用と人材の育成を図ります。そのためには現在一部の地域で行われている自主防犯組織を町内の各地域にも広め、町内全体に防犯拠点の確保に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
自主防犯活動者育成セミナーの開催回数【回】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 自主防犯活動の支援 【取組の概要（背景・目的等）】 町民・警察・行政などが一体となって、地域のつながりにより犯罪を未然に防ぎ、地域で助け合うことができる安全で安心なまちを目指します。 【実施内容・成果（R05）】 上牧町自治連合会では防犯活動出発式を実施しました。各自治会の皆さんが、パトロールや立哨等を始めとする防犯活動を主体的に実践することで、防犯意識の向上やコミュニティの結束力の向上、犯罪被害の減少など、様々な成果が得られ、安全・安心な生活をしていただくことができたと考えます。 また、補助金を活用し、防犯ポスター及びのぼりを各自治会に配布し、防犯活動の啓発に取り組みました。 【事業費（決算額：R05）】 ・上牧町自治連合会運営支援事業：644千円	A	【今後の取組方針】 上牧町自治連合会に対し補助金を交付し、各自治会における防犯活動の援助を支援します。 また、安全安心なまちづくりの根幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進や担い手の確保など、他自治体の取組を参考にしながら支援のあり方について検討を進めていきます。
取組② 自主防犯活動者の育成 【取組の概要（背景・目的等）】 地域における防犯活動の中心となる町民を育成することにより、自主防犯活動を推進します。 【実施内容・成果（R05）】 まちづくり協議会の実践的な活動から、担い手の確保や育成などを参考にするため、奈良市自治連合会協力のもと、研修を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・上牧町自治連合会運営支援事業：644千円	A	【今後の取組方針】 安全安心なまちづくりの主幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進、担い手の確保、「自主防犯活動者育成セミナー」の実施など、他自治体の取組を参考にしながら活動者の育成について検討を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	④ 子どもを守るまちづくりの推進	総務課
施策の展開方向	●学校、保護者、地域と連携を図りながら、子どもの安全教育や施設及び通学路の安全点検、防犯対策を推進します。 ●子どもはもとより、女性や高齢者にとっても安全で安心なまちづくりのために防犯に配慮した公園や道路空間の整備を推進するとともに、町職員等による防犯パトロールを推進します。 ●犯罪の抑止力や発生後の早期解決を図るため、主要幹線道路、交差点、通学路等の危険な箇所に防犯カメラの設置を積極的に推進します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
防犯カメラ設置台数【台】	○	24 対前年増減→	30 +6	36 +6	37 +1				36
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	防犯活動の支援		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置やパトロールなどを行うことで、町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。 【実施内容・成果（R05）】 町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく、防犯パトロールの強化を実施しました。 防犯カメラについては、上牧第二中学校裏側階段に新たに1台設置を行い、合計37台の設置を完了しました。 また、別の箇所でも危険であると判断されたため、令和6年度に防犯カメラの設置を計画しています。 交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・防犯カメラ設置事業：671千円		A	【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	⑤ 消費者行政の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●多様化・複雑化する消費者トラブルに関する相談に迅速かつ的確に対応するため、消費生活相談をはじめとする消費者被害救済体制の充実を図ります。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
消費者教育講座の参加者数（年間）【人】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	79 +79				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	消費生活相談窓口の開設		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 消費者トラブルに関する相談に迅速かつ的確に対応するため、相談窓口を開設します。 【実施内容・成果（R05）】 役場1階市民相談室において、契約・架空請求・ネットトラブルなどあらゆる分野の消費者相談に対応する窓口を週2回開設しています。 （13時～17時（火曜日）、9時～13時（木曜日）） なお、住民（相談者）の利便性を考え、河合町と連携し、相談体制を構築しています。 消費生活相談員と連携して今後も窓口相談を続け、外国人のかたからの相談も受け付けられるように、多言語対応したチラシを作成、各庁内窓口に配架しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円		A	【今後の取組方針】 引き続き、河合町と連携した相談体制で、窓口相談を行います。 また、各家庭でも使いやすい啓発用シールの全戸配付を考えています。
取組②	詐欺被害防止啓発活動の実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する昨今の詐欺による消費者トラブルを町民に啓発することで、詐欺被害の防止に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 毎月、町広報にて消費生活相談のコーナーを設け、様々なトラブルの事例を紹介しています。 町内全戸に啓発用カード（消費生活相談の案内）の配布及び啓発物品（クリアファイル）の配布を行いました。 ベガサスフェスタにおいて、啓発物品（ティッシュ、ボールペン、メモ、風船）を配布しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円		A	【今後の取組方針】 より多くの人々に周知するため、啓発物品をベガサスフェスタや消費者啓発出前講座などで配布します。
取組③	消費者教育講座の開催		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する消費者トラブルを町民に啓発することで、消費者トラブルの被害防止に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 消費生活相談者は高齢者層が多数です。そのため、社会教育課と連携し、高齢者層の参加者が多い高齢者（やよい）学級43人・婦人（さゆり）学級36人を対象とした消費者啓発出前講座を開催しました。 このことで、より多くのかたの意識向上につながりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円		A	【今後の取組方針】 令和6年度は自治会を対象に、消費生活センターのボランティアグループ「くらしの安全・安心サポーター」を派遣して行われる出前講座により、消費者被害の発見、未然防止、拡大防止を目指します。